

- 市町村間をまたいで運行する広域的な路線バスは、沿線住民の通学や通院などの移動手段として利用されており、日常生活を支える上で重要な役割を果たしている一方、人口減少等を背景に利用が低迷している状況にあり、確保・維持に向けた改善が求められる。
- このため、住民の移動実態等を踏まえた経路の見直しを行うことにより利便増進と効率化を図りつつ利用者の拡大を目指すものである。
※以下に記載の事業は令和8年4月実施事業

事業の内容

※①～⑤は右図の番号に対応

①主要拠点へのアクセス改善に向けた経路の変更

- ・ 高校（会津農林高校、会津学鳳高校）商業施設（メガステージ会津坂下）、観光施設（道の駅会津やないづ）への経路変更・延伸

②系統の統合及び主要拠点へのアクセス改善

- ・ 塩川・喜多方線と笈川線の一体的な見直し
- ・ 商業施設（会津アピオ）、病院（会津医療センター）への経路変更

③起終点の変更及び主要拠点へのアクセス改善

- ・ 利用実態に合わせて循環路線から往復での運行に再編
- ・ 病院（会津西病院）、商業施設（MEGA ドン・キホーテ）への経路変更

④鉄道駅乗り入れ及び主要拠点へのアクセス改善

- ・ 鉄道駅（会津高田駅）への乗り入れにより、鉄道との接続、補完機能の強化
- ・ 高校（会津学鳳高校）への経路延伸

⑤系統の統合及び域内交通との一体的な見直し

- ・ 病院（会津医療センター等）・鉄道駅（堂島駅）への経路変更
- ・ 河東・湊線と域内交通（米代・河東線、みなとバス）の一体的な見直し

事業の効果

①～⑤主要拠点へのアクセス性の向上

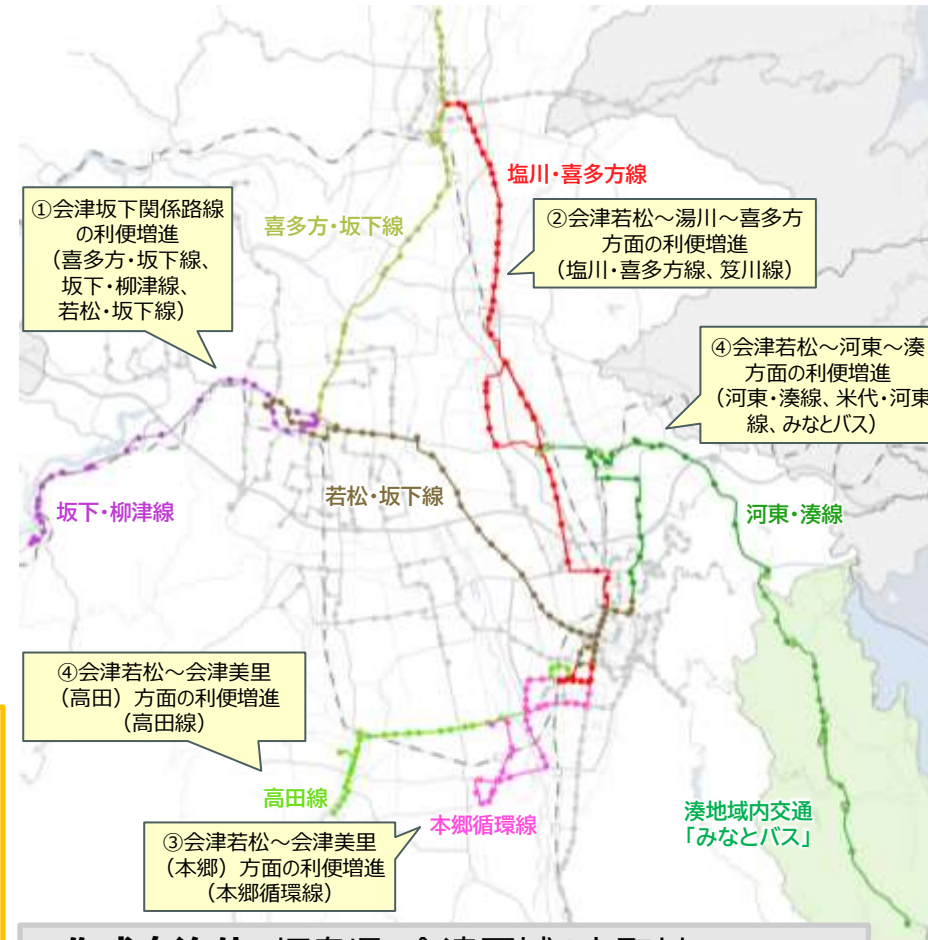
- ・ 高校・商業施設・病院・観光施設等を経由する経路の見直しにより、日常生活及び観光周遊における移動目的先へのアクセス性が向上

②・⑤運行の効率化

- ・ 2つの路線に分散している利用を束ねることで、広域路線バスの持続性が向上

②・④・⑤鉄道・高速バス等との接続性向上

- ・ 会津アピオで高速バスと、会津高田駅・堂島駅で鉄道との接続性が向上



- ・作成自治体 福島県・会津圏域6市町村
- ・事業実施区域 会津圏域6市町村
- ・事業実施予定期間 R8年4月～R14年3月